

基本目標	重要業績指標 (KPI) (単位)	実績値							基準値 (R1)	単年度実績値 (R4)	目標値 (R4)	目標達成率	評価		
		R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7							
若い世代を中心に、安心・やりがい・稼げる仕事を創出する															
基本目標Ⅰ	生産年齢人口 【数値目標】	人	7,971	7,827	7,557 7,574	7,422 7,416	7,287	7,152	7,014	7,971	7,416	7,422	99%	B	
	基本施策1														
	創業者数	人	8	6	7	7	7	7	7	8	7	7	100%	A	
	基本施策2														
認定新規就農者数 (産業創造大学卒業者で認定した者)	人	2	1	2	0	2	2	2	2	2	0	2	0%	D	
基本施策3															
観光消費額	百万円	2,652	1,828	1,973	2,352	3,700	3,700	3,800	3,900	2,652	2,352	3,700	64%	C	
世羅町の魅力と立地を活かし新たな人を呼び込む															
基本目標Ⅱ	20歳～39歳の人口 【数値目標】	人	2,442	2,324	2,362 2,241	2,322 2,181	2,282	2,242	2,203	2,442	2,181	2,322	94%	B	
	基本施策1														
	移住者数 (空き家バンクに限る)	人	18	21	22 25	14	24	26	28	30	18	14	24	58%	C
	基本施策2														
新築住宅戸数	戸	72	65	75 65	44	75	75	75	75	72	44	75	59%	C	
結婚・妊娠・出産から子育てまで充実した生活環境を提供する															
基本目標Ⅲ	合計特殊出生率 【数値目標】	人	1.88	1.20	1.88 1.20	1.88 1.21	1.88	1.88	1.88	1.88	1.21	1.88	64%	C	
	基本施策1														
	子育て世代包括支援センターの利用人数	人	5,071	7,180	7,500 7,630	8,594	7,550	7,500	7,500	5,071	8,594	7,550	114%	A	
	基本施策2														
世羅高等学校入学者数	人	109	111	110 124	79	115	120	125	130	109	79	115	69%	C	
質が高く安心して暮らせる生活基盤を整備する															
基本目標Ⅳ	社会増減数 【数値目標】	人	-43	-67	-30 -122	-46	-18	-11	-4	-43	-46	-24	52%	C	
	基本施策1														
	ケーブルテレビのインターネット加入率	%	36.1	37.8	46 52.7	47 51	48	49	50	36.1	51	47	109%	A	
	基本施策2														
せらまちタクシーの利用者数	人	29,214	24,022	29,490 22,650	27,003	29,779	30,068	30,357	30,646	29,214	27,003	29,779	91%	B	
基本施策3															
公立世羅中央病院常勤医師数	人	14	13	16 13	14	16	16	16	16	14	14	16	88%	B	
基本施策4															
元気な地域づくり応援事業実施件数	件	0	0	2	0	4	6	8	10	0	0	4	0%	D	

基本目標1 若い世代を中心に、安心・やりがい・稼げる仕事の間を創出する

<p>【基本的方向】 創業希望者や創業後間もない人たちの円滑な事業展開を促進するため、継続的な支援を行います。また、地域産業の活性化を図るため、商工会や金融機関と連携し地元事業者の支援や中小企業・小規模事業者の事業継承を促進します。雇用機会の創出にも努めます。併せて、本町の基幹産業である農業等の将来の世羅町を担う人材の育成や観光振興に力を入れることで、持続可能な地域の働く場の創出に努めます。</p>	<p>数値目標</p>	<p>生産年齢人口</p>							<p>目標達成率</p> <p>99%</p>	<p>評価</p> <p>B</p>
	<p>(単位) 人</p>	<p>R1 基準</p>	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
<p>【総合戦略評価・意見】 評価できる：14人 評価できない：0人 世羅町の魅力が増して、観光・農業含めて新規事業者が増えることが大切。</p>										

基本施策1 創業・事業継承支援、地元事業者支援による地域産業の競争力強化

<p>令和4年度の成果</p>	<p>全体を通しての方向性</p>	<p>重要業績指標 (KPI) 創業者数</p>							<p>目標達成率</p> <p>100%</p>	<p>評価</p> <p>A</p>	
<p>【1. 創業の促進】 ①新規創業助成金活用数：9件 ②新規創業利子補給補助活用：11件 ③新規創業者：7件 【2. 地元事業者の支援】 ①小規模企業支援事業：16件 【3. 事業承継の支援】 ①事業承継事業：0件 ②人材育成事業：39件 【4. 雇用機会の創出】 ①企業立地促進事業：11件 ②サテライトオフィス誘致戦略の策定 ③紹介チャンネル掲載事業者：5件</p>	<p>1. 商工会と連携し、補助金・助成事業の継続により中小企業者への支援を行います。 2. 既存の企業の再投資費用の低減を図るなど、雇用の創出につながる投資に対する支援を継続的にを行います。 3. 県内の関係機関で構成される「広島県事業継承ネットワーク」における事業を活用し、関係機関との連携や取組を強化します。 4. ①企業立地支援を引き続き推進します。 ②世羅の宿ひがしへ整備した、短期間利用可能なお試しオフィスを活用し、企業誘致を進めていきます。 ③企業紹介動画の掲載数の増加に取り組みます。</p>	<p>(単位) 人</p>	<p>R1 基準</p>	R2	R3	R4	R5	R6			R7

<p>住民ワーキング会議からの意見評価 有効：3人 やや有効：2人 有効でない：0人</p>	<p>住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え</p>									
<p>【1. 創業の促進】 ●初期の設備投資に50万円では厳しい。 ●他の市町への周知が必要では。 【2. 地元事業者の支援】 ●小規模企業支援は使いやすい。 ●手続き申請がしやすい形である。 【3. 事業承継の支援】 ●手厚くサポートを受けられた。 ●空き家バンクの利用の範囲を事業者でも使えるよう広げて。 【4. 雇用機会の創出】 ●動画を作った後の施策を。</p>	<p>1. 創業の支援内容については好評を頂いており、創業の後押しをしています。引き続き内容については検討を行ってまいります。 ・支援機関と協力して周知を行ってまいります。 2. 支援内容について好評を頂いていますが、引き続き検討を行ってまいります。 3. 支援内容について好評を頂いていますが、引き続き検討を行ってまいります。 ・空き家バンクの利用については関係課と検討を行ってまいります。 4. コロナ禍において、高校生向けの企業説明会が開催できなかったため、町内事業所の紹介動画を作成しyoutubeにてPRを行っている。引き続き高校等へ動画の紹介を行っていき、各事業所・関係機関と周知等の方法について検討を行ってまいります。</p>									

<p>総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：14人 評価できない：0人</p>	<p>総合戦略推進会議意見に対する町の考え</p>									
<p>・創業された方の業種はどういったものか。今後、合同企業説明会の予定はあるのか。 ・企業立地促進事業11件について詳細はどういったものか。 ・サテライトオフィスについて、「世羅の宿ひがし」の活用状況について。 ・KPIの創業者数について、その後創業を継続されているのか。 ・世羅高卒業生がどう地元で根付くか、町としての考えを。</p>	<p>・運送業、美容関係、農業サービス、リサイクル業。合同企業説明会は実施を予定しています。 ・固定資産税部分の支援事業なので実際の支援件数です。 ・1Gbpsのベストエフォート回線で、3~4件/月。これまでに県外からの視察が2件。企業誘致について県内市町が集まり、里山ワークを実施しました。 ・継続されています。研修や販路拡大の補助を行っています。 ・世羅町の様々な企業を知ってもらおう機会づくりを行っています。</p>									

基本施策2 将来の世羅町を担う人材の育成

<p>令和4年度の成果</p>	<p>全体を通しての方向性</p>	<p>重要業績指標 (KPI) 認定新規就農者数(産業創造大学卒業者で認定した者)</p>							<p>目標達成率</p> <p>0%</p>	<p>評価</p> <p>D</p>	
<p>【1. 農業の担い手の育成】 ①世羅産業創造大学卒業生で認定新規就農者：0人 【2. 6次産業の推進による人材の確保】 ①6次産業化支援件数：1件 【3. 介護福祉人材の確保・育成】 ①介護福祉士実務者研修受講者：9人</p>	<p>1. 新規就農者の早期経営安定を実現するための研修制度や就農支援の仕組みを再構築します。 ・備後圏域での連携等により、農業体験を実施します。 2. 地域で実施されるイベント・研修会等の活動支援。 ・県等と連携し、サポート支援事業による支援をしていきます。 3. 介護職の魅力や、やりがいを発信するために、事業所紹介フェアの開催や事業所紹介パンフレットの作成を行い、また、介護現場の負担軽減のために、介護ロボットやICTの導入を進めていきます。 ・介護福祉士実務者研修を町内で開催し、介護資格取得のための費用を補助します。</p>	<p>(単位) 人</p>	<p>R1 基準</p>	R2	R3	R4	R5	R6			R7

<p>住民ワーキング会議からの意見評価 有効：1人 やや有効：2人 有効でない：1人</p>	<p>住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え</p>									
<p>【1. 農業の担い手の育成】 ●県内でも有数の農業地域、移住農業をしたい人は多数いると思う。 ●補助金だけでなく半農半Xに広げてみては。 ●農地と住居の確保ノウハウがあっても農業を継続していくことに不安。 【2. 6次産業の推進による人材の確保】 ●農家とのつながり、売場や加工施設を有効活用できる。 ●以前は飲食組合と一緒に勉強会もした。 ●6次産業も高齢化が進みアイデアが浮かんでこない。 【3. 介護福祉人材の確保・育成】 ●介護事業の世界も介護ロボット等、デジタル化が進んできた。 ●担い手の確保も必要だが、既存の方の流出を食い止めるのも必要。 ●資格を持つ人の町外流出を止めないと。</p>	<p>1. 世羅町でしっかり就農いただき、営農を継続できるよう、研修制度については、現状にあった就農モデルを再構築し、その実現が可能になるよう受け入れ人材の基準や研修内容の見直しを行います。一方、農地の維持を含め、多様な地域の担い手の確保としては、定住部門と連携しながら支援内容を検討します。 2. 研修会等新たなアイデアを取り入れる活動の支援や他業種と連携した取り組みを推進していきます。 3. 介護福祉人材の確保・育成のために、町内で資格取得に対する研修会を実施するとともに、資格取得に係る費用に対する補助金の拡充を図ります。</p>									

<p>総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：14人 評価できない：0人</p>	<p>総合戦略推進会議意見に対する町の考え</p>									
<p>・KPIの認定新規就農者数について、0件となっているが今後の見通しは。</p>	<p>・コロナ禍により県外からの相談や受け入れを控えていた。現在研修生2名。</p>									

基本施策3 観光振興について

<p>令和4年度の成果</p>	<p>全体を通しての方向性</p>	<p>重要業績指標 (KPI) 観光消費額</p>							<p>目標達成率</p> <p>64%</p>	<p>評価</p> <p>C</p>	
<p>【1. 観光振興の推進】 ①観光消費額：2,352百万円 ②入込観光客数：1,827千人</p>	<p>1. 新型コロナウイルス感染症の影響により、落ち込んだ観光客数と観光消費額の回復を目指すため、各関係団体等との連携を深めて、様々な事業を推進します。また第2期世羅町観光振興基本計画の策定により、インバウンド対策、外資系ホテルの活用などの新たな取組を実施していきます。</p>	<p>(単位) 百万円</p>	<p>R1 基準</p>	R2	R3	R4	R5	R6			R7

<p>住民ワーキング会議からの意見評価 有効：3人 やや有効：2人 有効でない：0人</p>	<p>住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え</p>									
<p>【1. 観光振興の推進】 ●コープのファミリーマラソンについて、出店店舗の周知をもう少しやり方を考えてほしい。</p>	<p>1. 次回大会が開催されるか検討中のことであるが、出店店舗の周知を図るなど対策を行うことで、出店店舗への来客者の確保に努めます。</p>									
<p>総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：14人 評価できない：0人</p>	<p>総合戦略推進会議意見に対する町の考え</p>									
<p>・観光ニーズのフィードバックによる改善について、今後何が改善点となるのか。</p>	<p>・閑散期の底上げ、事業者間連携、リピーターの確保、新規顧客の獲得を重点課題としています。</p>									

基本目標II 世羅町の魅力と立地を活かし新たな人を呼び込む

<p>【基本的方向】</p> <p>移住定住促進を図るため、総合的な相談窓口を設け、住まい・仕事等ニーズに応じた情報を提供します。空き家バンク制度等を活用した移住定住相談や住宅の取得に向けた支援を行います。また、地域外の人材を積極的に受け入れ、関係人口の創出・拡大の取り組みを推進します。</p>	数値目標		20歳～39歳の人口					目標達成率	評価
	(単位)人	R1基準	R2	R3	R4	R5	R6		
			94%		B				
<p>【総合戦略評価・意見】 評価できる：14人 評価できない：0人</p> <p>30～39歳の女性転入超過であった事は良い傾向である。</p>									

基本施策1 移住定住に関する総合的な支援

令和4年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標 (KPI)	移住者数 (空き家バンクに限る)					目標達成率	評価
<p>【1. ニーズに応じた移住定住支援】</p> <p>①空き家購入支援件数：10件</p> <p>②空き家バンク新規物件登録件数：13件</p> <p>③若年者遠距離通勤助成件数：38件</p> <p>【2. 移住者への情報発信の拡充】</p> <p>①移住相談件数：173件</p> <p>【3. 事前体験する機会の創出】</p> <p>①お試し暮らし利用回数：9回</p> <p>②移住体験プログラム実施件数：2件</p> <p>【4. 関係人口の創出】</p> <p>①関係人口創出事業参加者数：12人</p> <p>②地域おこし協力隊任用人数：2人</p>	<p>1. 固定資産税納付書を送付する封筒に印刷した空き家バンクの紹介による制度の周知をはじめ、継続的に広報をしていきます。</p> <p>・空き家情報など、自治組織と密に連携を図る。</p> <p>2. HPや勉強会により、空き家所有者に対し積極的に情報提供できるような取り組みを検討します。</p> <p>3. 広島県や広域連携で立ち上げている Facebook や Twitter を積極的に活用し、世羅町の情報を細やかに発信します。</p> <p>4. 世羅町移住・交流促進協議会を中心に、広島県と連携し関係人口創出事業を実施します。また、自治センターの整備に向け、自治組織とも連携した事業を企画します。</p>	(単位)人	R1基準	R2	R3	R4	R5		
		58%		C					

住民ワーキング会議からの意見評価 有効：4人 やや有効：3人 有効でない：0人

<p>【1. ニーズに応じた移住定住支援】</p> <p>●地域おこし協力隊として移住してくれた方が、任期終了後も世羅町で頑張ってくれているので、現役隊員の方にも世羅町に定住してほしい。</p> <p>●封筒裏の空き家バンクの印刷を目立つ色にした方がよい。</p> <p>【2. 移住者への情報発信の拡充】</p> <p>●相談窓口が年々拡充しているのはよいと思う。</p> <p>●せっかくいいパンフレットがあるので、もっと町外、県外にも広く配布してほしい。</p> <p>【3. 事前体験する機会の創出】</p> <p>●他自治体にはない施設があり、事前に移住体験ができる事は貴重な経験になる。</p> <p>●お試し暮らしは暑い夏、寒い冬を経験してもらえる。また、世羅町のいい所も悪い所も伝えてくれるのは良いことである。</p> <p>●就職先（仕事）とセットで相談対応するほうが効率的である。</p> <p>【4. 関係人口の創出】</p> <p>●関係人口事業が終わったあとも「世羅に集まろう」と声が出ている。</p> <p>●自治組織のパンフレット作りは、より具体的に地域を知ってもらえ、良いことである。</p> <p>●“ついでに婚活”イベントは、参加者が町外の人が多い。世羅町の参加者を増やすべきである。</p>	<p>1. 引き続き、地域おこし協力隊員の任期終了後の定住に向けた支援に注力していきます。</p> <p>・固定資産税の納付書を送付する封筒に「空き家バンク」の告知を印刷し利用し始めたのは令和5年度分からです。封筒を見たという問い合わせも一定数あります。</p> <p>2. 引き続き、それぞれのニーズに合った移住定住の相談対応に努めます。</p> <p>・パンフレットは、世羅町の窓口で相談に来られた方だけでなく、首都圏等の移住相談関係機関に置いてもらったり、移住フェアで広く配布したりと、積極的な活用を図っているので、今後は、町内の観光施設等にも配架を依頼します。</p> <p>3. 引き続き、移住を検討している方のお試し暮らしの利用を促進するよう、広報等を積極的に行います。</p> <p>・相談者のニーズに合わせ、仕事については、関係機関と連携しながら対応します。</p> <p>4. 関係人口事業終了後も、SNS等を活用し、継続的に世羅町に関わってもらえる仕組みづくりを検討していきたいと考えています。令和5年度は、広島県の「ひろしま里山ウエーブ拡大プロジェクト」という関係人口創出事業に参画します。</p> <p>・婚活は、住んでいる地区で開催されるイベントには参加したくないという意見も多い現状があり、令和4年度は、あえて、町外の方を対象とした関係人口創出イベントの一環として婚活イベントを開催しました。</p>
--	--

総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：14人 評価できない：0人

<p>・移住者の実績14人について課題と原因、令和5年度に向けての改善は。</p> <p>・人口流出について性別による違い等を把握しているか。</p> <p>・空き家バンクの登録促進に具体的に何かされている事があるか。</p>	<p>総合戦略推進会議意見に対する町の考え</p> <p>・世羅町に移住した人25人→14人。世帯数は10件→10件なので、単身世帯、2人世帯が増加している。空き家バンクの利用促進、登録の促進に注力していきます。</p> <p>・男女とも10～29歳の世代が流出が最も多い。30～39歳の女性が転入超過。70歳以上の女性が転出超過。</p> <p>・家財処分費用の補助制度を実施。また、世羅町ホームページ、固定資産税納付書郵送封筒及び自治センター等での、空き家バンク制度の周知に努めています。</p>
---	--

基本施策2 快適な住環境の整備

令和4年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標 (KPI)	新築住宅戸数					目標達成率	評価
<p>【1. 快適な住環境の整備】</p> <p>①住宅リフォーム補助事業利用件数：48件</p> <p>②飲用水施設整備補助件数：8件</p> <p>③合併処理浄化槽設置基数：28件</p>	<p>1. ①住宅リフォーム補助事業を継続し、利用状況に応じて柔軟な予算措置を行います。</p> <p>②飲用水施設整備補助の継続をします。</p> <p>③国、県の補助基準額に加え、町独自の補助金額の上乗せ及び国、県の補助対象外である新築家屋に対する補助金交付を継続します。汲み取り及び単独処理浄化槽からの合併処理浄化槽設置を重点的に推進します。</p>	(単位)戸	R1基準	R2	R3	R4	R5		
		59%		C					

住民ワーキング会議からの意見評価 有効：5人 やや有効：2人 有効でない：0人

<p>【1. 快適な住環境の整備】</p> <p>●リフォーム補助があり助かる。</p>	<p>1. ①住宅リフォーム補助事業は毎年40件近くの利用件数があり、多くの方に活用いただいています。今後も事業の継続と広報に努め、快適な住環境の整備を進めていきます。</p> <p>②③移住定住に係る補助事業等についても、町のホームページやパンフレットで積極的に周知を図ります。</p>
--	--

総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：14人 評価できない：0人

<p>・KPIの新築住宅戸数と住宅リフォーム事業の関連について</p>	<p>総合戦略推進会議意見に対する町の考え</p> <p>・KPIの新築住宅戸数は②飲用水施設整備と③合併処理浄化槽に関連しています。(②③は新築以外も含まれます)</p>
-------------------------------------	--

※住民ワーキング会議からの意見 数値目標・重要業績目標 (KPI) 評価 A 100%～ B～99% C～69% D～29%

青字 プラス評価 赤字 マイナス評価 黒字 その他

実績値 目標値

基本目標Ⅲ 結婚・妊娠・出産から子育てまで充実した生活環境を提供する

<p>【基本的方向】 結婚・妊娠・出産から子育てまで切れ目のない総合的支援体制による、子供を安心して産み育てられる環境づくりに取り組みます。また、保育料や医療費の助成により、子育てに要する経済的負担軽減を行い、子育てがしやすいまちづくりを推進します。さらに、学習環境の支援を行うとともに、奨学金を返還する若年層への支援により、将来の世羅町を担う人材を一人でも多く確保・育成することに取り組みます。</p>	数値目標		合計特殊出生率							目標達成率	評価
	(単位)人	H25～H29基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
	2	1.88	1.20	1.88	1.88	1.88	1.88	1.88	1.88	64%	C

【総合戦略評価・意見】 評価できる：14人 評価できない：0人
子育て施策の実施に対して評価できるが、合計特殊出生率が期待したものになっていない。

基本施策1 結婚・妊娠・出産から子育てまで切れ目のない総合的な支援の提供

令和4年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標 (KPI)		子育て世代包括支援センターの利用人数							
<p>【1. 結婚・妊娠・出産から子育て期までの切れ目のない総合的な支援の提供】</p> <p>① 子育て世帯包括支援センターの利用人数8,594人 ③ イベント参加人数：0人(婚活をテーマに関係人口創出イベントを開催：参加者12人)</p> <p>【2. 保護者等の主体的な子育てへの支援の充実】</p> <p>② 地域子育て支援拠点施設の利用延人数：438人 ② 子育て情報アプリ登録者数：467人</p> <p>【3. 乳幼児・就学児童・生徒の子育て支援】</p> <p>① 保育料半額補助延べ件数：1,666件 ② はぴはぴ祝金事業(出産祝金)：58人</p> <p>【4. 子育ての多様なニーズに対し働きながら育てられる環境の整備】</p> <p>① 病児保育(体調不良児対応型)利用者数：146人 ② 放課後児童クラブ登録者数：238人 ③ 放課後子供教室の開催地区数：3地区</p>	<p>1. ①②親子が気軽に集まれるフリースペースや相談ができる環境整備に努めます。③世羅町移住・交流促進協議会と連携し支援します。</p> <p>2. 子育て親子が交流できる広場を検討し、育児不安や子育て負担の軽減や解消の支援に努めます。</p> <p>3. 継続実施により保護者の経済的負担の軽減を図ります。</p> <p>4. ①保護者のニーズに対応するため病児保育、一時預かり、延長保育などの支援、提供を行います。</p> <p>②放課後児童クラブを引き続き民間委託により安定的な雇用、良質なサービス等の提供を行います。③放課後児童クラブの設置地区以外の地区において、地域主体型の放課後子供教室の開催に取り組みます。</p>	(単位)人	R1基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価
			5,071	7,180	7,630	8,594	7,550	7,500	7,500	114%	A

住民ワーキング会議からの意見評価 有効：4人 やや有効：0人 有効でない：0人

住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え

<p>【1. 結婚・妊娠・出産から子育て期までの切れ目のない総合的な支援の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●家庭訪問が増えたのは直接顔の見える関係が作れて良い。 ●いろんなイベントで知り合った者同士のつながりが広がっているのはいい。 ●自然な出会いが作れそうな婚活イベントが開けてよかった。 <p>【2. 保護者などの主体的な子育てへの支援の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域に出向いて子育て支援センター事業を実施しているのはいいと思う。 ●アプリの登録が増えているのがいいと思う。 ●子育て広場の情報を「母子モ」で配信できるよう連携ができていて良い。 <p>【3. 乳幼児・就学児童・生徒の子育て支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現金給付よりは医療助成の方が必要な時に続けて支援してもらえるのはいいと思う。 ●はぴはぴ祝金が出産した方全てに届いていて良い。 <p>【4. 子育ての多様なニーズに対し働きながら育てられる環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●病児保育はいいと思う。 ●保育資格を持っている人が保育施設で働くときに子どもを保育所等へ預ける際の費用が安くなったり預けやすくするのはどうか。 ●1号認定で入園させて働いている人は夏休み中に園に預けると一時預かり料が発生するため、助成や支援をしてほしい。 	<p>1. ①②妊娠届出から子どもが3歳児健診を受診するまでの間で、保健師による7回の面談と、母子保健推進員やだっこの保育士による家庭訪問など、子育て家庭と顔の見える関係性の構築と併せ、誰もが安心して相談できる環境整備に努めます。</p> <p>③“ついでに婚活”というイベント名にすることで、参加者を獲得できた面があります。今後も、関係人口創出と関連付けながら、イベントを企画します。</p> <p>2. アプリ機能を活用した子育て支援事業や緊急情報の配信に努めます。また、地域に出向いた子育て支援センター事業や子育て広場を開設し、子育て世帯が気軽に利用できるよう努めます。</p> <p>3. ①乳幼児医療費支給事業・児童医療費支給事業については、引き続き実施していきます。</p> <p>②はぴはぴ祝金(出産祝金)を継続実施により子どもの健全な育成と子育てを行う保護者を支援します。</p> <p>4. ①病児保育(体調不良児対応型)を継続実施により保護者の負担軽減を図ります。</p> <p>②③国の動向を見ながら検討いたします。</p>
--	---

<p>総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：14人 評価できない：0人</p> <p>・よい子育て政策をされているが、合計特殊出生率が1.2と低い、要因は何か。 ・県内トップクラスの1.88から現在は1.2と県内でも高くない事について町としてはどう見ているか。</p>	<p>総合戦略推進会議意見に対する町の考え</p> <p>・分析はできていないが、世羅町では、出生数が多いのは30歳前後で、結婚や子どもを望む年齢が遅く、40歳代の方もおられる。全国的には減少傾向だが世羅町は横ばいです。 ・楽しい子育てを考える会実行委員会が町外や、中高生に町の子育て政策をPRしています。</p>
---	---

基本施策2 将来の世羅町を担う人材の育成

令和4年度の成果	全体を通しての方向性	重要業績指標 (KPI)		世羅高等学校入学者数								
<p>【1. 学習支援の促進】</p> <p>① 1人1台の端末機を効果的に活用し、個に応じた指導や協働的な学習の推進を図った。</p> <p>② 電子図書サービスの検討を行った。</p> <p>【2. 世羅高等学校における学習環境の支援】</p> <p>① 世羅高等学校入学者数：79人</p> <p>【3. 奨学金の支援による若年層の人材確保】</p> <p>① 返済制度支援者数：0人</p>	<p>1. ①実技を伴う教科において活用頻度が低い傾向にあるため、そうした教科におけるICT活用手法の検討を行い、活用状況の活性化を図ります。</p> <p>②電子図書コンテンツの拡充状況を踏まえ、図書館司書を交えて、引き続き導入の是非について検討していきます。</p> <p>2. 新たにIT及びAI学習に関する支援を行い、企業版ふるさと納税の活用等を進めます。</p> <p>3. ①支援制度の情報発信を行います。</p>	(単位)人	R1基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標達成率	評価	
			109	111	110	124	115	120	125	130	69%	C

住民ワーキング会議からの意見評価 有効：3人 やや有効：1人 有効でない：0人

住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え

<p>【1. 学習支援の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●調べ学習が子ども達の好奇心に繋がり自己学習に役立っている。 ●町内学校間で共有できるデータベースが出来ている事が良い。 ●英語ネイティブな発音、耳からの情報も得られるようになった。 ●電子図書館のターゲットは若年層に。 ●端末の使用について担任の許可が必要などところがあり生徒が自由に使用できていないのでは？ <p>【2. 世羅高等学校における学習環境の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●行政が企業訪問し協力依頼をするのは良い。生徒も同行し就職、職場の雰囲気を感じてみては。 ●陸上部以外も頑張っており、町もSuper世羅塾、通学支援・検定助成など幅広く支援して良い。 ●なぜ世羅高に入学しないのかアンケートを実施してみてもどうか。 <p>【3. 奨学金の支援による若年層の人材確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●支援制度があること自体は良い。 ●県制度を参考に町独自の支援をハードルを下げて対象者を増やしてみてもどうか。 ●企業側にとって、制度のハードルが高い。 	<p>1. 若年層向けの図書コンテンツから導入をスタートする等、引き続き導入の手法について検討を行います。</p> <p>2. 令和4年度から企業版ふるさと納税の依頼を企業に対して行っていますが、引き続き世羅高校への支援や協力の依頼を行います。また、世羅高校の取組や魅力の発信についても世羅高校と連携して様々な方法で周知を行います。また、県立広島大学と連携しアンケートの実施に向けて調整を行っています。</p> <p>3. 奨学金の支援制度を活用して頂けるよう、内容及び周知等について検討します。</p>
--	--

<p>総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：14人 評価できない：0人</p>	<p>総合戦略推進会議意見に対する町の考え</p>
--	---------------------------

県立高校の再編の話もあり、県立高校や私学でも生徒確保競争が激しくなっている。学校の取組について、マスコミへ攻勢をかけ周知を強化している。オープンスクールの参加者が前年度から20人程度増加しているため、来春の入学者に期待。

世羅高校と町で緊密に情報共有を行い、ケーブルテレビなど様々な方法で魅力の発信を行います。

基本目標Ⅳ 質が高く安心して暮らせる生活基盤を整備する

<p>【基本的方向】 住み慣れた地域でいつまでも安心して生活ができるよう、高速大容量の通信網を整備し、ICTによる地域課題解決・地域活性化の実現を図ります。また、交通ネットワーク及び医療体制の充実を図ります。さらに、住民が主体となった地域課題の解決や地域活性化に資する取り組みを支援することで、協働のまちづくりを推進します。</p>	<p>数値目標</p>	<p>社会増減数</p>							<p>目標達成率</p> <p>52%</p>	<p>評価</p> <p>C</p>
	<p>(単位) 人</p>	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
<p>【総合戦略評価・意見】 評価できる：14人 評価できない：0人 社会減が改善されていて良い。</p>										

基本施策1 情報通信基盤の整備

<p>令和4年度の成果</p>	<p>全体を通しての方向性</p>	<p>重要業績指標 (KPI) ケーブルテレビのインターネット加入率</p>							<p>目標達成率</p> <p>109%</p>	<p>評価</p> <p>A</p>	
<p>【1. 情報通信基盤の整備】 ケーブルテレビのインターネット加入率：51.0%</p>	<p>1. 通信速度の向上効果を積極的にPRし、インターネット加入率の上昇を図っていきます。</p>	(単位) %	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6			R7
<p>住民ワーキング会議からの意見評価 有効：1人 やや有効：3人 有効でない：0人 住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え</p>											
<p>【1. 情報通信基盤の整備】 ●目標値を達成している。 ●インターネット環境を必要とする若年層と高齢者との間で情報格差が生じているのではないかと。 ●加入促進の方法を目に見える形で広報してほしい。「こんなことができる」等セットでPRしてほしい。 ●人口減少が進む中で、携帯電話の電波状況など、現状のサービス水準を維持してもらえるのか不安。</p>											
<p>総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：14人 評価できない：0人 総合戦略推進会議意見に対する町の考え</p>											

基本施策2 地域公共交通ネットワークの充実

<p>令和4年度の成果</p>	<p>全体を通しての方向性</p>	<p>重要業績指標 (KPI) せらまちタクシーの利用者数</p>							<p>目標達成率</p> <p>91%</p>	<p>評価</p> <p>B</p>	
<p>【1. 地域公共交通ネットワークの充実】 せらまちタクシーの利用者数：27,003人</p>	<p>1. せらまちタクシーやくるりん号の利用促進のため、広報せらやケーブルテレビで周知を強化し、利用説明会や乗車体験会を継続して実施します。 ・公共交通マップを作成し、町内各戸へ配布します。 ・黒川地区互助輸送の導入に向けて地元との調整。</p>	(単位) 人	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6			R7
<p>住民ワーキング会議からの意見評価 有効：0人 やや有効：4人 有効でない：0人 住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え</p>											
<p>【1. 地域公共交通ネットワークの充実】 ●ケーブルテレビでのくるりん号のPRが斬新でイメージがわいて良かった。 ●くるりん号の駐車場所が増えて利用しやすくなった。 ●せらまちタクシーについて、町外へのエリア拡大や、マイナンバーカードの活用、電子決済、荷物の制限緩和、月に1度でも良いので土日の運行を検討してほしい。 ●せらまちタクシーのインターネット予約について、もっと周知を。 ●地域内の互助移動（ボランティア輸送）の支援と拡大を。</p>											
<p>総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：14人 評価できない：0人 総合戦略推進会議意見に対する町の考え</p>											
<p>外国籍の方の利用と土日の運行について ・1つの事業所の技能実習生が多く利用されており、土日の運行については、令和6年度の見直し時に検討します。 ・技能実習生のいる会社等に周知します。</p>											

基本施策3 医療体制の充実

<p>令和4年度の成果</p>	<p>全体を通しての方向性</p>	<p>重要業績指標 (KPI) 公立世羅中央病院常勤医師数</p>							<p>目標達成率</p> <p>88%</p>	<p>評価</p> <p>B</p>	
<p>【1. 医療体制の充実】 ①オンライン診療実施医療機関数：1件 ② 公立世羅中央病院常勤医師数：14人</p>	<p>1. オンライン診療等の手続きについて周知、情報発信を行います。 ・安定した医療サービスの提供を継続していくため、公立世羅中央病院の人員確保や施設整備の取組みへの支援を継続的にいきます。</p>	(単位) 人	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6			R7
<p>住民ワーキング会議からの意見評価 有効：0人 やや有効：4人 有効でない：0人 住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え</p>											
<p>【1. 医療体制の充実】 ●公立世羅中央病院の医師が増えたことはよいこと。 ●介護分野とのデータ共有を。 ●オンライン診療は時間外対応があれば若い人は便利。</p>											
<p>総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：14人 評価できない：0人 総合戦略推進会議意見に対する町の考え</p>											
<p>地域医療支援センターによる、ふるさと枠医師での確保以外で医師確保について世羅町独自の取組はあるか。 公立世羅中央病院への病院運営費の負担、また医師住宅建設事業への支援により、環境整備に取り組んでいます。</p>											

基本施策4 元気な地域づくりの推進

<p>令和4年度の成果</p>	<p>全体を通しての方向性</p>	<p>重要業績指標 (KPI) 元気な地域づくり応援事業実施件数</p>							<p>目標達成率</p> <p>0%</p>	<p>評価</p> <p>D</p>	
<p>【1. 元気な地域づくりの推進】 助成件数：0件</p>	<p>1. 令和4年度に成立した3件のプロジェクトについて、令和5年度の実施がスムーズに取り組めるよう助言を行います。 ・令和6年度実施のプロジェクトの募集を開始します。 ・国の認定を受けた地域再生計画では、令和7年度プロジェクト実施まで実質3カ年の支援を予定しています。多くの提案・実施につながるよう、事業の周知、ふるさと納税の掘り起こし等に注力していきます。</p>	(単位) 件	R1 基準	R2	R3	R4	R5	R6			R7
<p>住民ワーキング会議からの意見評価 有効：1人 やや有効：3人 有効でない：0人 住民ワーキング会議からの意見に対する町の考え</p>											
<p>●住民の団体からの提案も良いが、空き家再生など狙いを定めたプロジェクトを募集してみたい。 ●もっと斬新なアイデアでイベントを企画してみたい。(牛追い祭り、トマトのぶつけあい。) ●対象を企業も応募できるようにしたらどうか。 ●複数年度実施でのプロジェクトを募集してみたい。</p>											
<p>1. 住民からの提案は幅広く受け付けたいと考えているため、狙いを定めて募集するのではなく、各課の職員へ元気な地域づくり応援事業を周知することで、各業務における住民との相談の中で、元気な地域づくり応援事業の活用の提案ができるのではないかと考えています。 ・プロジェクトの企画は、住民からの提案となるため、是非、提案してください。 ・企業による営利を目的としたプロジェクトは対象外ですが、寄付された企業等との連携によるプロジェクトの実施は可能です。 ・毎年度、提案・申請は必要になりますが、複数年度での実施も可能と考えます。</p>											
<p>総合戦略推進会議意見・評価 評価できる：14人 評価できない：0人 総合戦略推進会議意見に対する町の考え</p>											